

## 接続語 レベル8

日 前  
月 名

■ 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

あなたがお寿司屋さんに入ったとします。たくさんネタがありますよね。でもその中には、同じ種類の魚を別の名前で呼んでいるものが含まれています。

(1) **イ**、マグロも、トロも、鉄火も、魚の種類としては同じ「**鯖**Ⅱまぐろ」です。

(2) **ア**、それぞれがまるで別の食べ物であるかのように扱われています。

(3) **オ** 日本人は、ひとつの魚からできるお寿司に、別々の名前をつけるのでしょうか。私はこう考えます。日本人は昔から魚をたくさん食べていて、魚にこだわりがあるからではないかと。部位や調理法によって味にも細かい違いがあるということを知っている。

(4) **エ**、別々の名前を付けるのです。そう考えてみると、たくさん名前、たくさん言葉を知っている人ほど、様々な物事を詳細にわたって理解していることになります。

(5) **ウ** 言葉の豊かな人は、心が豊かな人なのです。

ア それなのに    イ 例えば    ウ つまり    エ だからこそ    オ どうして

- (1) **イ** (例をあげる)    (2) **ア** (逆の内容)    (3) **オ** (疑問の投げかけ)  
 (4) **エ** (原因から結果)    (5) **ウ** (まとめて言う)

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～クから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

「イブの仮説」という考え方があります。現在の人類の母系の祖先をたどっていくと、約十六万年前にアフリカにいた一人の女性にたどりつくとする学説です。これは母親から子供に受け継がれるミトコンドリアDNAの塩基配列を解析した結果をもとに提唱された説です。

(6) **カ**、このアフリカにいた一人の女性を「ミトコンドリア・イブ」と呼ぶこともあります。大変興味深い説ですね。

(7) **ク**、注意しなければいけないことが二つあります。

(8) **キ**、現在の人類は「ミトコンドリア・イブ」の遺伝子を受け継いではいませんが、人類がその女性だけから始まったわけではありません。

(9) **ク** 「ミトコ



ンドリア・イブ」の生きていた時代には、他にも多くの女性が存在し、その遺伝子は、途中で男系子孫を介しながら、現在まで受け継がれているからです。(10) ケ、「ミトコンドリア・イブ」から、さらに祖先をたどることができることも、忘れてはなりません。その母系祖先たちも現在の人類に共通する女性祖先なのです。「ミトコンドリア・イブ」はあくまでも、現在の人類に最も近い世代の祖先であるだけです。唯一の祖というわけではないのです。

カ ですから キ まず ク なぜなら ケ 次に コ しかしながら

(6) カ (原因から結果) (7) コ (これまでと違う方向) (8) キ (注意点その1)

(9) ク (理由の説明) (10) ケ (注意点その2)